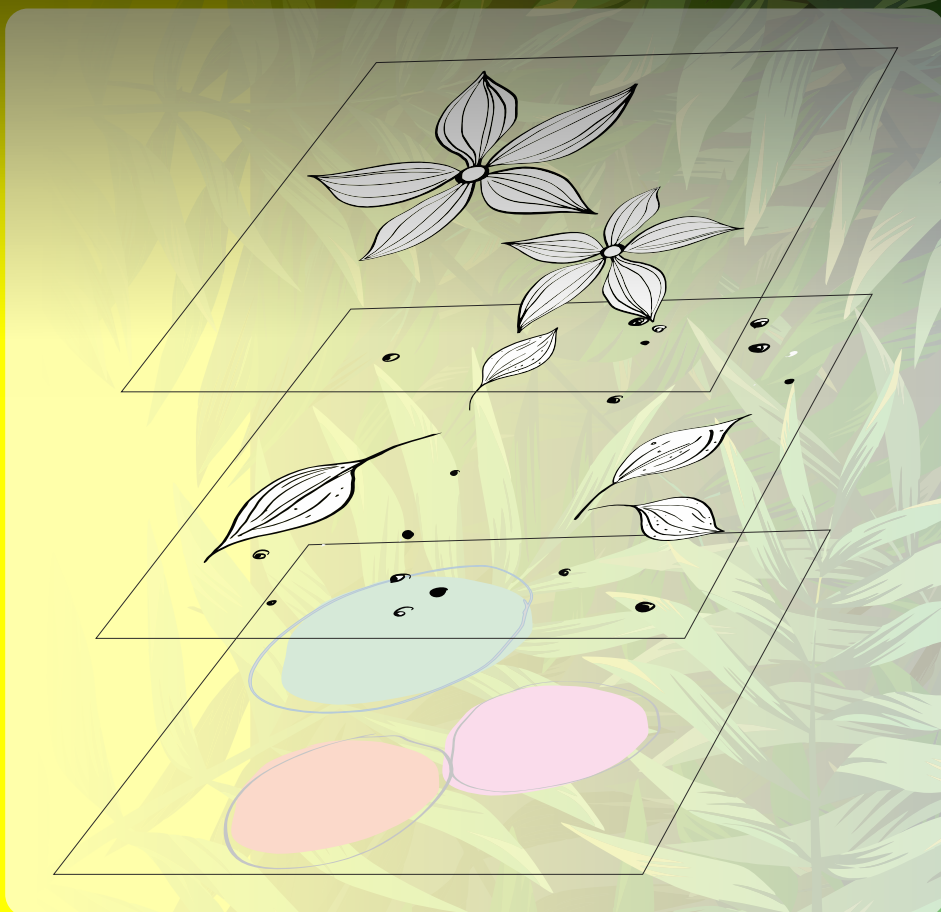


複数レイヤー

CorelDRAWのすべてのレイヤー：
レタッチ、構成、描画の技術



解説者

Peter Lütke-Wissing

Peter Lütke-Wissing 氏は、さまざまな業界に著名なクライアントを抱えるグラフィックデザイナー兼イラストレーターです。独自のイラストレーション手法や創造的で意図的なアイデアを基に、CorelDRAW Graphics Suite を使ってデザインを制作しています。また、長年にわたりコーレル製品のトレーナーを務めてもいます。実際には企業向けウェビナーや現場での直接指導をし、CorelDRAW Graphics Suite と Painter を最大限に用いた、創造性と生産性を高めるためのテクニックを紹介しています。



Corel ラーニングセンターを
ご活用ください。



 YouTube

Corel®
Discovery Center

目次

01 CorelDRAW でレイヤーを設定や管理するには	4
02 CorelDRAW のレイヤー機能を使うメリット	5
03 CorelDRAW のレイヤー技術の基本	6
04 CorelDRAW で正しくレイヤーを構成するには	7
05 CorelDRAW でレイヤーを作成および編集するには	8
06 CorelDRAW のレイヤーでレイアウトのバリエーションを作成するには	9
07 Corel PHOTO-PAINT でレイヤー設定や管理するには	11
08 Corel PHOTO-PAINT でレイヤーをグループ化するには	12
09 Corel PHOTO-PAINT の強力なレイヤー効果	13

複数レイヤー

著者：Jörg Rieger Espíndola、Corel GmbH

コピーライター：Michael Hiebel, Peter Knoll

レイアウトおよび植字：Michaela Maginot

画像クレジット/グラフィックス：

Peter Lütke-Wissing, Fotolia, Shutterstock

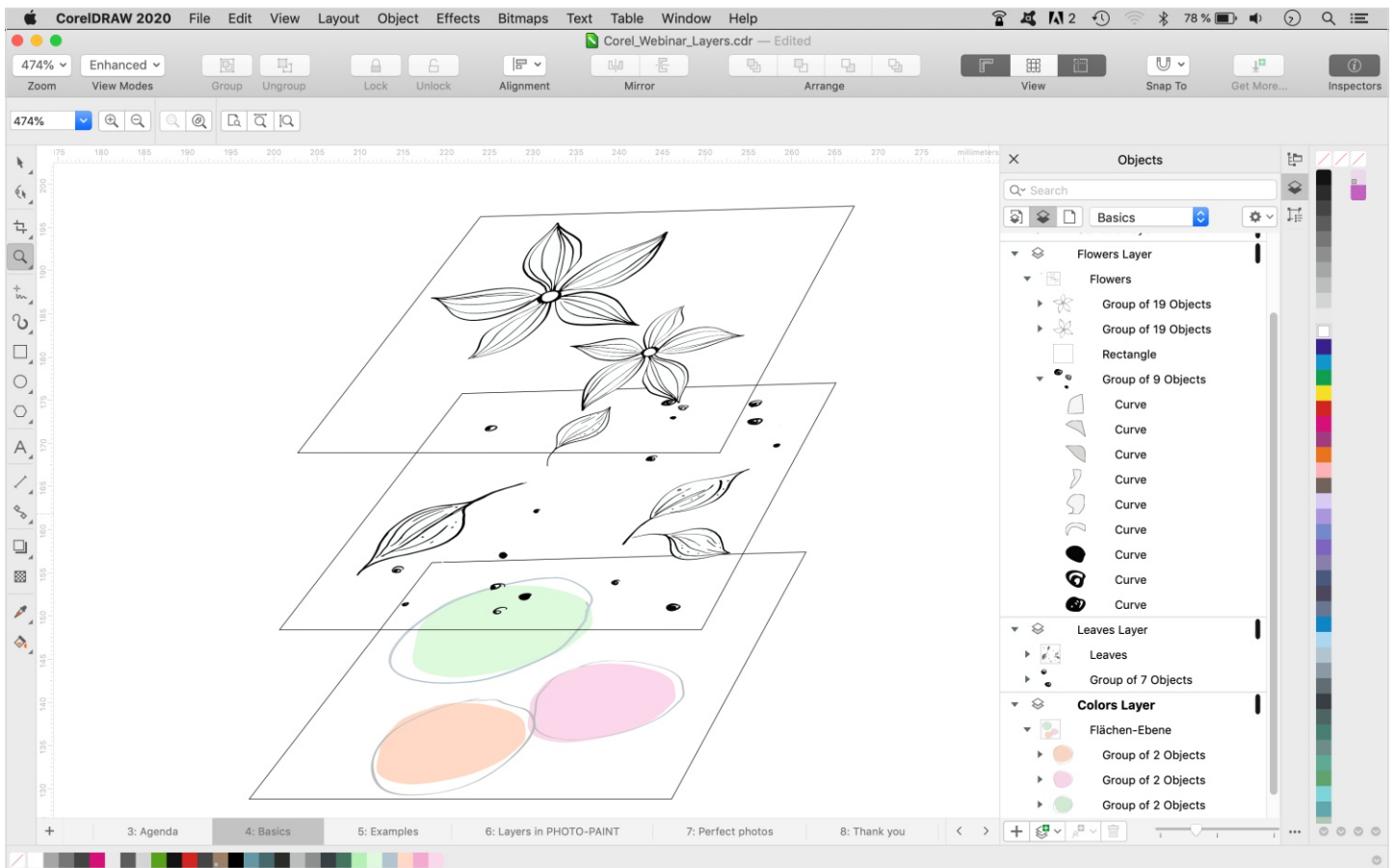
01 | CorelDRAWでレイヤーの設定や管理をするには

CorelDRAWの便利なレイヤー機能を使って、複数のレイヤーを作成して、作品の個々のパーツをレイヤーごとに分けて描きましょう。レイヤーとは、透明なシートに個々のデザインパーツを分けて描き、それを積み重ねて一つの作品にする手法です。

一般的に、最下層のレイヤーには背景のレイヤーを配置します。この例では3色の円が背景として描かれています。下から二番目のレイヤーには、絵の一部（この例では葉）が含まれており、下から三番目のレイヤーに花が描かれています。また、レイヤーを追加することもできます。例えばレイヤーをひとつ

追加してその上に文字を重ねたりすることができます。上のレイヤーに描かれたオブジェクトは、その下のレイヤーに描かれたオブジェクトを覆い隠す形になります。このため、レイヤーの重なり順を変えると、オブジェクトの重なり方も変わります。

更に、デザインを調整したいときは、最初から描き直さなくても、各レイヤーを個別に選択して編集することができます。この方法は、顧客からテキストやアドレスの一部を変更したいと仕上げの段階で言われても、デザインに反映させる場合に役立ちます。

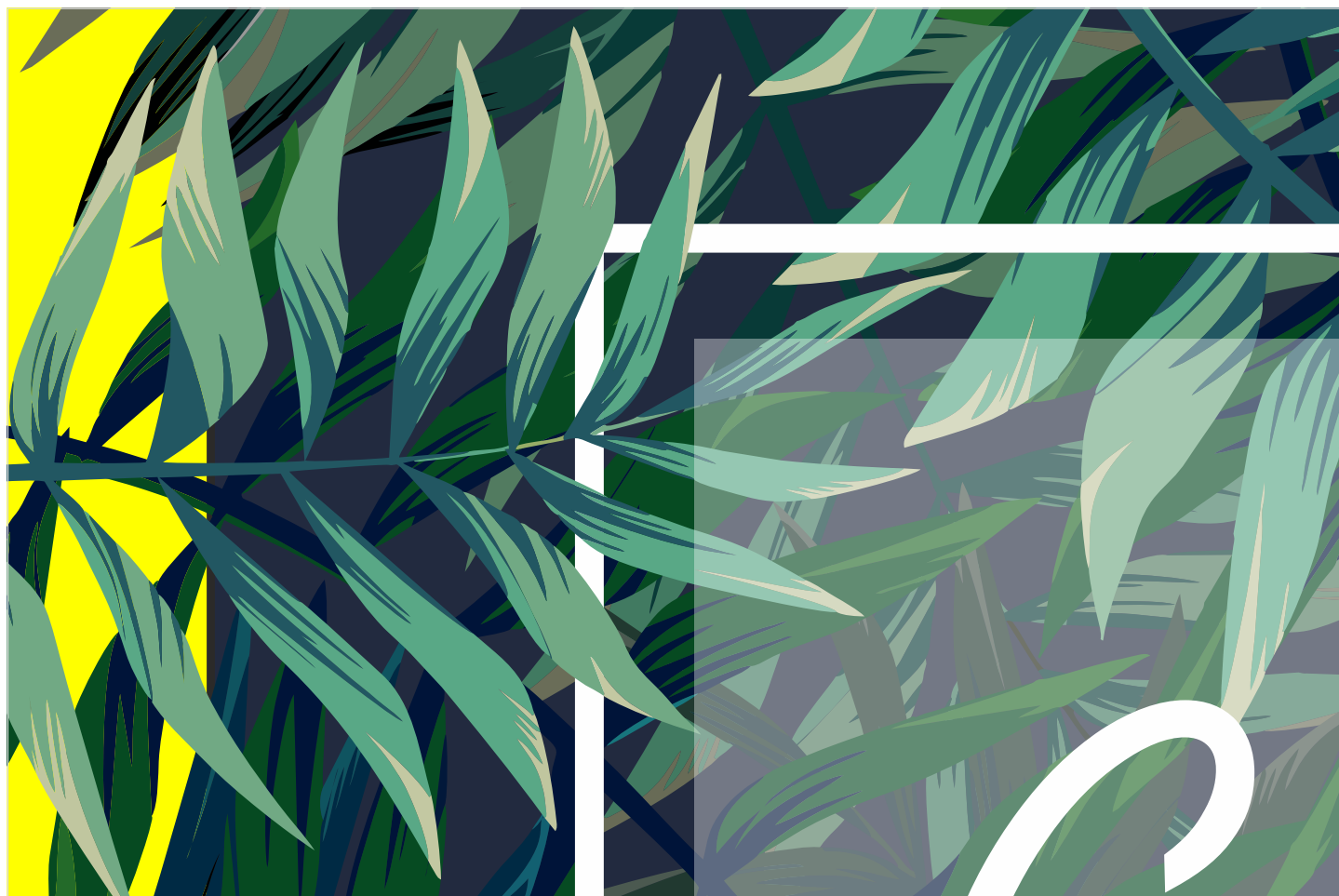


積み重なった透明なレイヤーに作品の各パーツを分けて描くことで、後の修正が簡単になります。積み重ねられたレイヤーは上から見るとひとつの作品に統合されています。

02 | CorelDRAWのレイヤー機能を使うメリット

CorelDRAW のレイヤー機能の特長

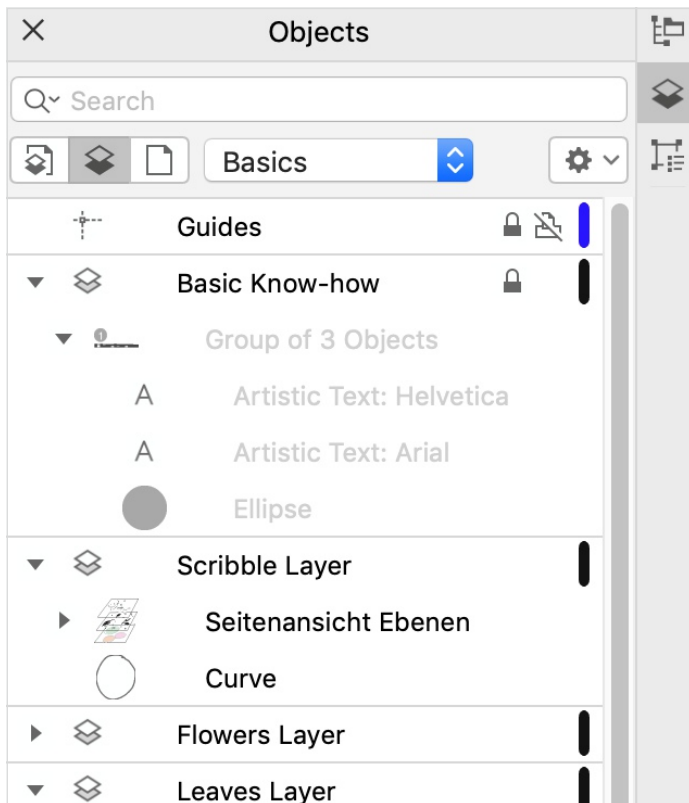
- **各パーツの選択が簡単** 積み重なったレイヤーから、それに属したデザインパーツを個別に選択できます
- **見やすい** 個々のパーツがより確認し易くなります
- **細かい調整** 各パーツを詳細に調整できます
- **対象を絞って適用** 効果を個々のレイヤー毎に適用できるため、効果を適用する対象を絞れます
- **全体把握** デザインの全体図を把握し易くなります
- **パーツの保護** 誤って削除や移動をしないように、レイヤーを個別にロックして保護ができます
- **再利用可能なテンプレート** ロック状態でもテンプレートをレイヤーにも使用できます



レイヤー機能は、テキストを入力するスペースを考慮しながらオブジェクト（この例では葉）の数を調整するときなど、外観のバランス調整に有効です。

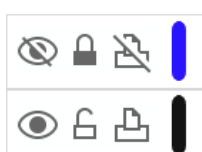
03 | CorelDRAW のレイヤー技術の基本

レイヤー機能を使い始める前に、いくつかの基本を押えましょう。レイヤーの様々な機能は、[オブジェクト]のドッキングウィンドウ(インスペクタ)で確認できます。メニューの[ウィンドウ] > [ドッキングウィンドウ(インスペクタ)] > [オブジェクト] をクリック、または[クイックカスタマイズ] ボタンの[+] アイコンをクリックして開きます。



[オブジェクト]のドッキング ウィンドウ(インスペクタ) からレイヤー機能を使用します。この中にある小さなアイコンを使って、各種設定を調整します。

この中にはレイヤーの[ロック/ロック解除]、[表示/非表示]、[印刷とエクスポートの有効化/無効化]を設定できる機能があります。下記の図でいうと開いた鍵のアイコンはロック解除の状態を表しており、これをクリックすると反対にロックが有効になります。これにより個々のレイヤーが誤って削除されたり変更されたりしないよう、保護ができます。

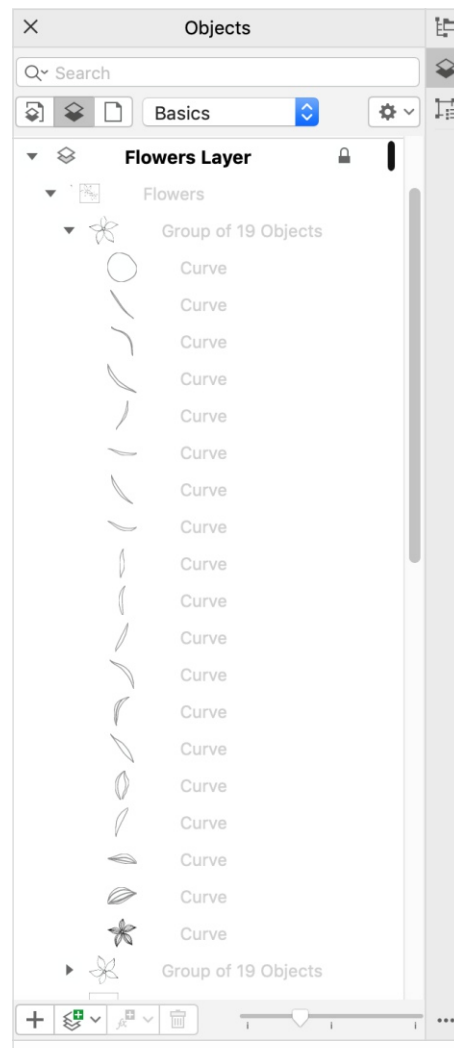


[オブジェクト] ドッキングウィンドウ(インスペクタ)にある目のアイコンをクリックすると、レイヤーの[表示/非表示]を切り替えることができ、プリンターのアイコンをクリックすると、[印刷とエクスポートの有効化/無効化]を切り替えることができます。また、鍵のマークを使って、個々のレイヤーを[ロック/ロック解除]することができます。

三角マーク[▼]をクリックすると、[オブジェクト]のドッキング ウィンドウ(インスペクタ)のレイヤー構造の詳細ビューの表示/非表示を切り替えることができます。



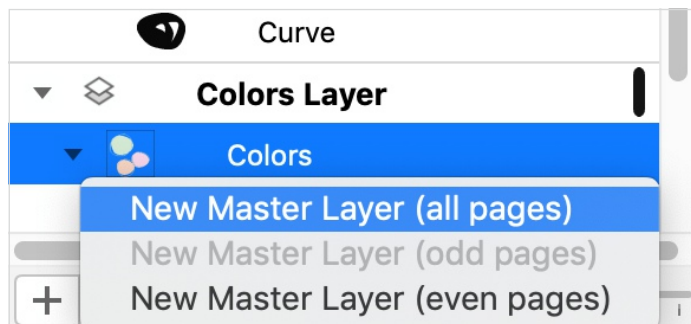
この作品では、三角マークをクリックすると、[オブジェクト]のドッキング ウィンドウ(インスペクタ)で「花」のレイヤーを展開できます。



展開されたレイヤー構造には、「花のレイヤー」の手描きの細かい描画がすべて表示されます。また、それらを個別に選択して調整することができます。

04 | CorelDRAW で正しくレイヤーを構成するには

CorelDRAWでは全てのコンテンツはローカルレイヤーかマスターレイヤーに区別されています。特定のページに適用されるコンテンツは、ローカル レイヤー（デフォルトページ）に配置されます。一方、ドキュメント内のすべてのページにあるコンテンツは、グローバルレイヤーであるマスターレイヤー（マスターページ）に配置されます。



[オブジェクト]ドッキングウィンドウ(インスペクタ)では、複数のレイヤーを個別に確認できます。また、アクティブ状態のレイヤーは編集が可能です。

デフォルトページ:

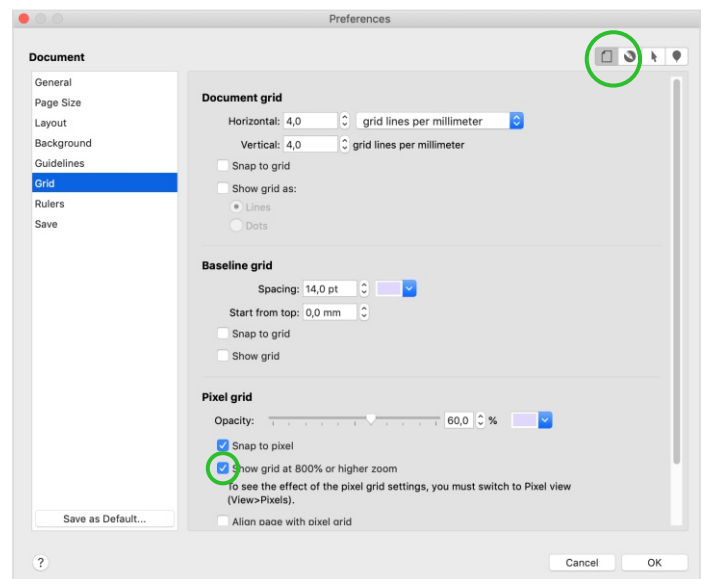
CorelDRAW では、新規ファイルごとにデフォルトページとマスターページが同時に作成されます。デフォルトページには、[ガイド]と[レイヤー 1]のカテゴリーがあります。この[ガイド]には、特定のページ用のガイドラインのみが保存されます。このレイヤーに配置されたオブジェクトは、補助的なオブジェクトと位置づけられ、ダイアログボックス上で印刷機能を有効に設定しない限り、印刷されることはありません。なお、デフォルト設定ではオブジェクトの追加は[レイヤー1]にされます。

マスターページ:

マスターレイヤーはマスターページと呼ばれる仮想ページに保存されるものを指します。マスターレイヤーは全てのページ、偶数、あるいは奇数ページに対して作成でき、適用ページを限定できます。この[ガイド]には、ドキュメント全体に使用されるガイドラインが表示されます。[デスクトップ]には、描画ページ外のオブジェクトがすべて表示され、後で作品に使用予定のオブジェクトを保存したりします。[ドキュメントグリッド]には、ドキュメントの全体に使用されるグリッドが表示され、このレイヤーは常に一番下に配置されます。Windowsを使用してドキュメントのグリッドを設定する場合は、メ

ニューの[ツール]>[オプション]>[CorelDRAW]のドキュメント(設定画面の右上隅にある用紙アイコン)>[ドキュメント]>[グリッド]の順に選択します。なお、グラフ用紙にはオブジェクトを配置できません。

macOS を使用する場合、[CorelDRAW ****]>[環境設定]>[ドキュメント](ドキュメント設定の右上隅にある用紙アイコン)>[グリッド]に進みます。



ドキュメントグリッドが表示されるのは、[オプション]で[ドキュメント]をクリックした場合のみに限られます。

ヒント:

マスターページにあるドキュメントであれば、ドキュメントのすべてのページで閲覧ができます。これは複数言語のドキュメントを作るときに有効です。例えば、様々な言語版を作成して、必要に応じてテキストを表示させることや、または印刷を有効に設定するときに便利です。

05 | CorelDRAWでレイヤーを作成および編集するには

[オブジェクト]のドッキングウィンドウ(インスペクタ)を開き、新規レイヤーを作成します。デフォルト設定では、作業領域の右側に[オブジェクト]のドッキングウィンドウが表示されます。レイヤーのリストの上にある三角マークをクリックして、[オブジェクト]ドッキングウィンドウのプロパティに移動します。または、レイヤーリストの下部にある**新規レイヤー**の記号をクリックします。

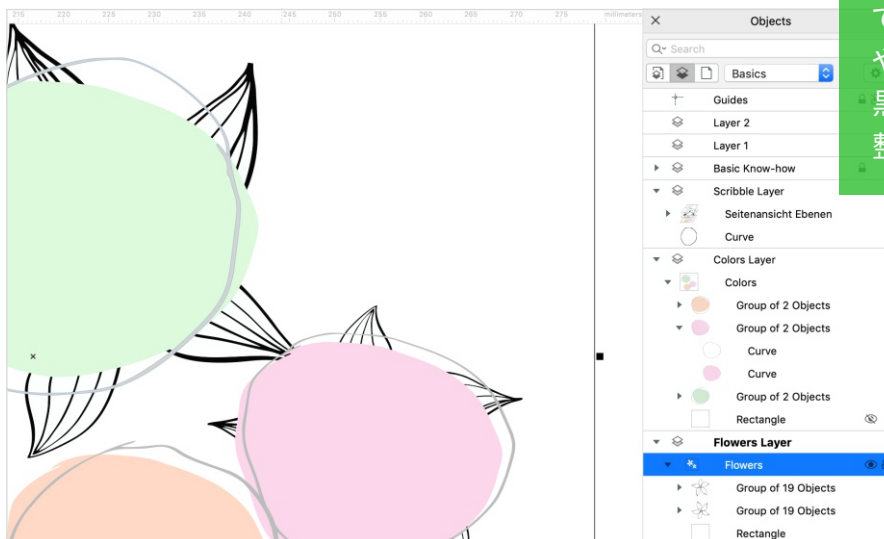
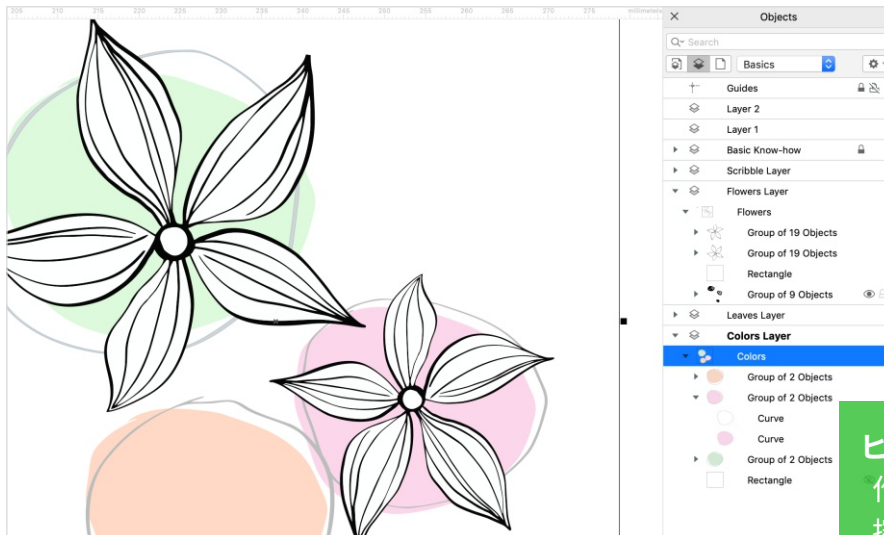


[オブジェクト]ドッキングウィンドウ(インスペクタ)の左側にある「+」記号をクリックすると、簡単に新規レイヤーを作成できます。

レイヤーの個々の重なり順を変更するには、[オブジェクト]のドッキングウィンドウでレイヤーをクリックし、そのまま上下にドラッグするとできます。

重なったレイヤーを上から見た状態がデザインの完成形となります。そのため、上にあるレイヤーのデザインパーツは、それより下にあるレイヤーのデザインパーツを覆い隠す形で表示されます。

なお、個々のオブジェクトだけでなく、グループ化したオブジェクトを別のレイヤーに移動させることもできます。



ヒント:

作成したレイヤーに名前を付けておくと、後で探すときに便利です。レイヤーを右クリックして[名前の変更]を選びます。また、より分かりやすくするために、次のボックスにある帯状の黒いカラーをクリックするとレイヤーの色を調整することもできます。

左上の画像が最終デザインです。円形のカラーが描かれたレイヤーを上に乗せると、その下のレイヤーに描かれた花の描画が覆い隠されます。

06 | CorelDRAWでレイヤーを使って、 レイアウトのバリエーションを作成するには

CorelDRAWのレイヤー機能は、ドキュメントの異なる言語版など、同じデザインで複数のバージョンを作る場合にとても有効です。

というのも、言語別にレイヤーを作成してテキストを配置し、選択した言語に関連するレイヤーのみを表示させることができるからです。

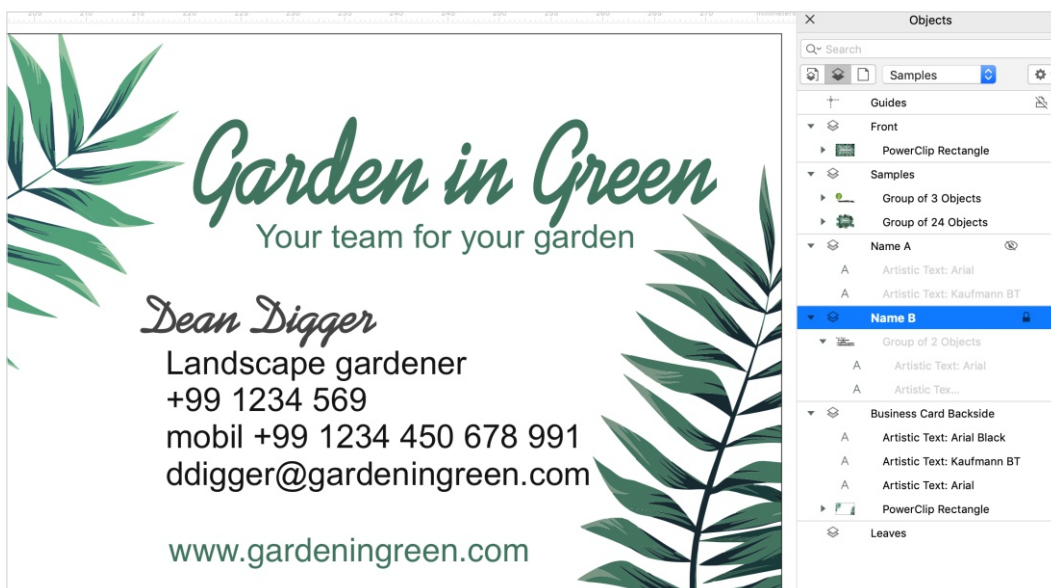
また、これはデザインのバリエーション作成に繋がります。デザイン自体に影響なく、個々のレイヤーのオブジェクトを簡単に移動させたりサイズを変更したりできます。

このような方法でロゴの配置変更など、最終仕上げ直前で発生した変更に対応でき、顧客との打ち合わせ中にも最終版の承認を得ることができます。

フォントの変更も、ほんの数秒で各レイヤーに反映させることができます。仮に名刺の場合、各人物の名前をレイヤーごとに分けて保存すると、デザインは同じにして別々の名前を表示させることができます。この方法だと、メインのデザインを常に同一に保つことができます。このようにして、作業工数を減らし、時間を大幅に短縮することができます。



1つのデザインで2つの言語の名刺を作成。レイヤーを使うことで、同じデザインを使って複数のバリエーションを作成できます。



また、**カラースタイル**を変えただけの同じデザインを別々のレイヤーに配置することもできます。こうすることで、どのレイヤーを表示させるかによって、色や画像の印象が全く変わります。これには各オブジェクトに対し、カラースタイルの機能を使います。

[クイックカスタマイズ] ボタンまたは [ウィンドウ]>ドッキング
グウィンドウ(インスペクタ) から [カラースタイル] を開きます。



また、CorelDRAWの**パワークリップ**機能を使うと、デザインパーツにより魅力的な効果を付与したバリエーションを作ることができます。

まず、適用したいデザインのオブジェクトをまとめて長方形で囲みます。この選択した状態で、メニュー [オブジェクト]> [パワークリップ]> [フレーム内に配置] を選択します。そして、選択した枠内にデザインパーツを入れ、後でパワークリップを使って移動させることもできます。



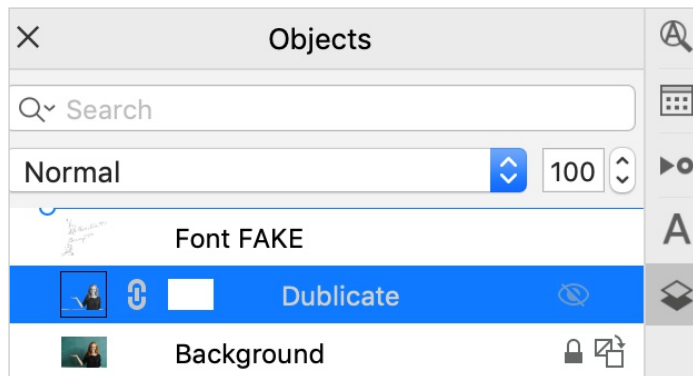
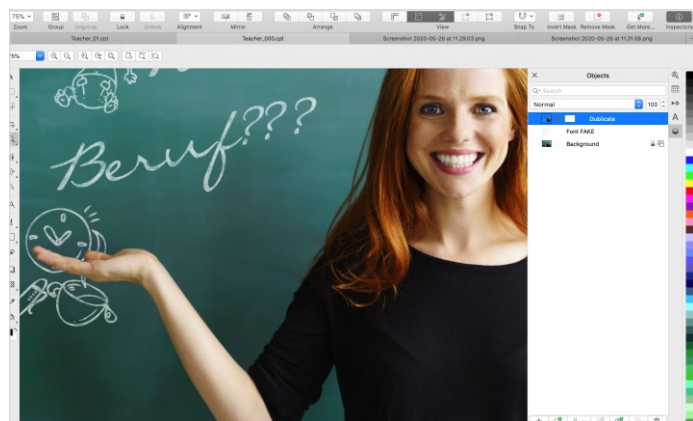
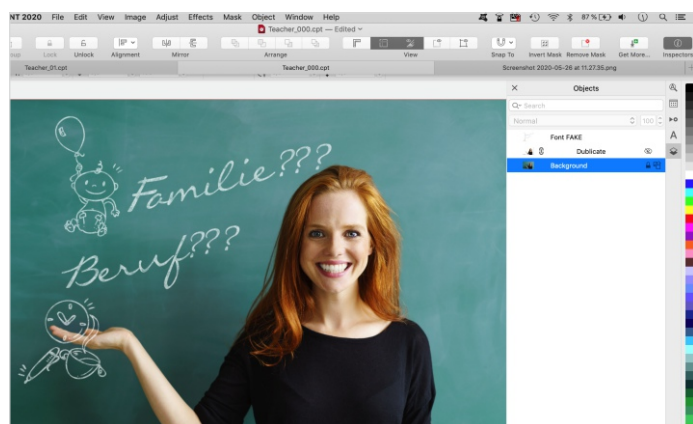
CorelDRAW は、パワークリップ機能をレイヤー機能と共に使って、効果のバリエーションを作成できます。

ヒント:

修正する際には、元のデザインをそのまま使用するのでなく、コピーを使って作業することをおすすめします。そうすることで、元のデザインを常に控えておくことができます。

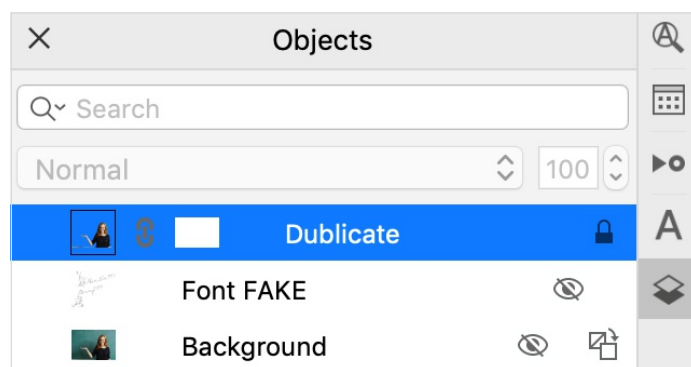
07 | Corel PHOTO-PAINTでレイヤー設定や管理をするには

Corel PHOTO-PAINTにも、CorelDRAWと同じようにレイヤー機能があります。対応するドッキング ウィンドウ(インスペクタ)は、同一の【オブジェクト】メニューにあります。クリック & ドラッグでレイヤーの重ね順を変更させることもできます。また、レイヤー上で右クリックして表示されるフライトアウトメニューから【重ね順】を選んで重ね順を変更させることもできます。CorelDRAWと同様に、レイヤーの重ね順を変更させることで、あるパーツを他のパーツより前面または後面に配置することができます。



レイヤーの重ね順を変えることで、オブジェクト(この例では、写真モデルの手の周りにあるチョークの落書きと黒板)が背景または前面に表示されます。

Corel PHOTO-PAINTには、写真に適した背景レイヤーがあります。テキストなどは上層のレイヤーに配置します。PHOTO-PAINT内のレイヤーの上で右クリックするとレイヤーの各機能が表示されます。この中からレイヤーの名前変更やコピーなどの機能を選択できます。また、レイヤーのリストの上には便利なスライダーがあります。このスライダーを使って、各レイヤーの【透明度】やその他の様々なレイヤーの効果を調整できます。



Corel PHOTO-PAINTの【オブジェクト】ドッキングウィンドウ(インスペクタ)には、透明度などのレイヤー効果を調整するスライダーがあり、その下部にはレイヤーがあります。

レイヤーの表示を【表示/非表示】にするには、レイヤー名の横にある目のアイコンをクリックします。

08 | Corel PHOTO-PAINT でレイヤーをグループ化するには

Corel PHOTO-PAINTでは、複数のレイヤーをグループ化できます。グループ化するとレイヤー同士が互いに連結します。具体的には、ロゴやタイトルを様々な言語バージョンで作成し、別々のレイヤーでグループ化するときなどに便利です。この場合、各グループには個別の言語バージョンのテキストを全部含んでおきます。その上で、テキストの表示/非表示を設定できるため、顧客へのプレゼンテーションの際には、ボタンをクリックするだけで素早く言語バージョンを切り替えることができます。

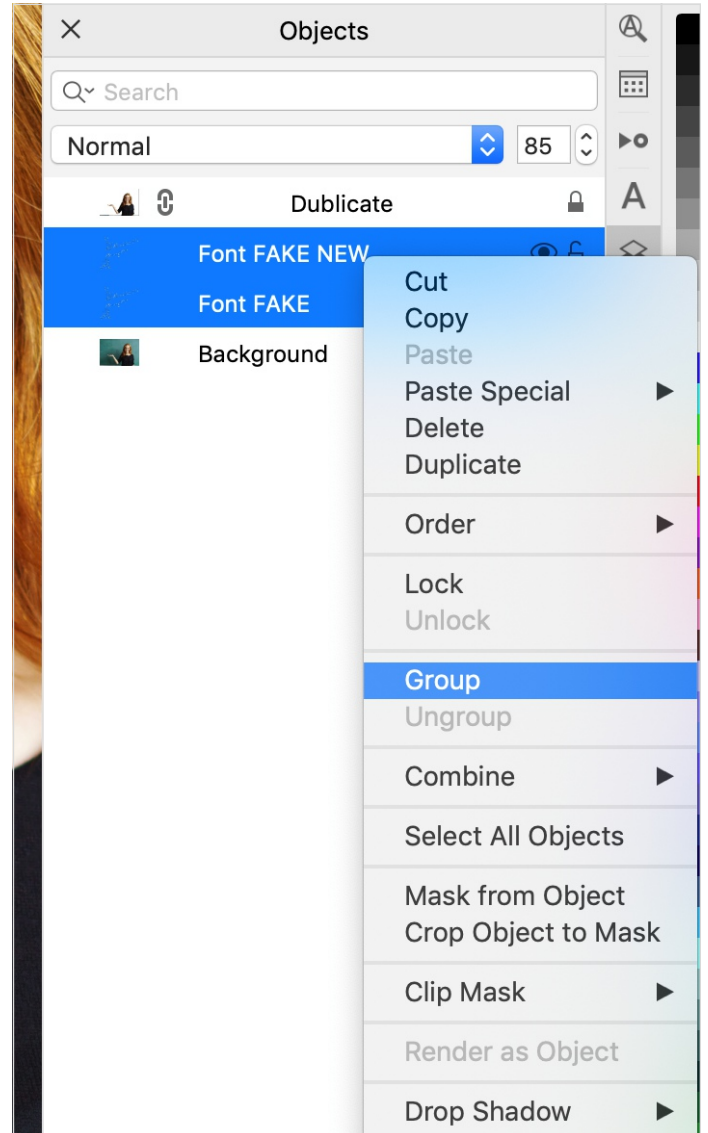
複数のレイヤーをグループ化すると、元の重なり順を保持したままグループ化されます。一看するとそのグループ化したレイヤーが一つにまとめられて表示されますが、三角マークをクリックするとそれが展開されて、個別に詳細表示できます。展開すると、グループ内の個々のパーツが表示されます。なお、このレイヤーグループに新規や他のオブジェクトを追加しようとしても、そのグループの前面か後面のレイヤーにしか配置できません。

レイヤーをグループ化するには、選択ツールでレイヤーを選択し、グループ化機能で連結させます。グループ化を設定する方法は、次の3つです。

- **Ctrl+G/Command+G** を選択する
- レイヤー上で右クリックする
- レイヤーのリストの右下にある**新規グループ**のアイコンをクリックする

レイヤーのリスト内でグループ名の変更もできます。

また、グループ化されたレイヤーに、透明度などのレイヤー効果を適用できます。これは単体のレイヤーだけでなく、グループ内のすべてのレイヤーにこの効果が適用されます。



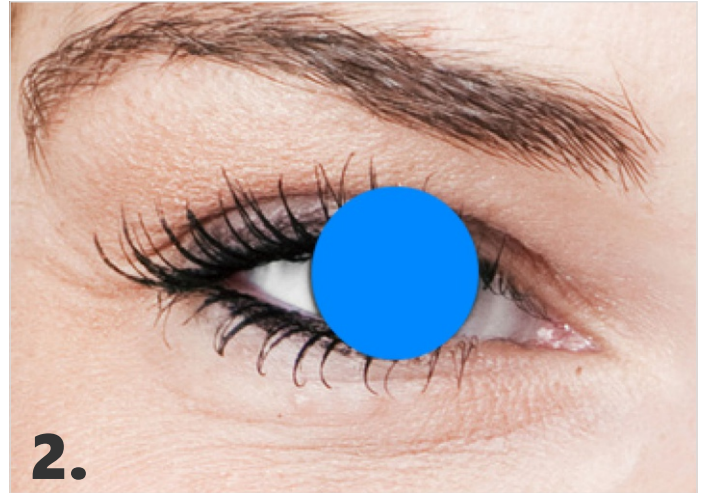
選択した複数のレイヤーを 1つのグループにまとめることができます。macOS の場合は、右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。

09 | Corel PHOTO-PAINTの強力なレイヤー効果

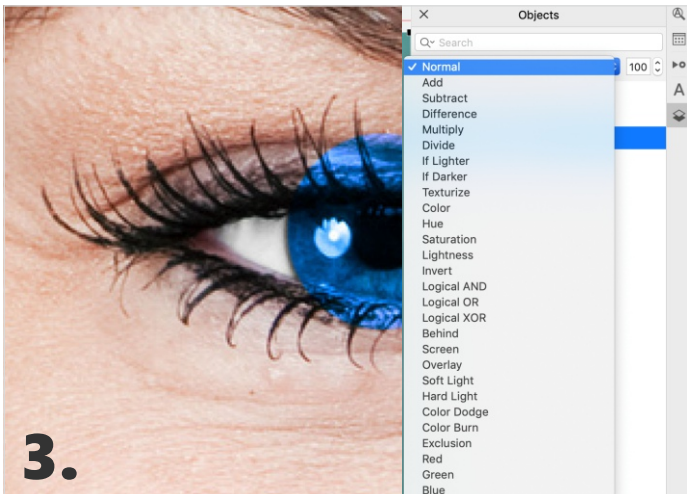
Corel PHOTO-PAINTでは、ポートレートのリタッチなどの際に、透明度の高いレイヤーで複数の効果を適用することができます。この例では、モデルの目の色を変更してみましょう。



モデルの目の色を鮮やかなブルーにするために、目の画像の上に配置したレイヤーに、虹彩を覆う円形を描きます。



円形の中に青色を入れます。

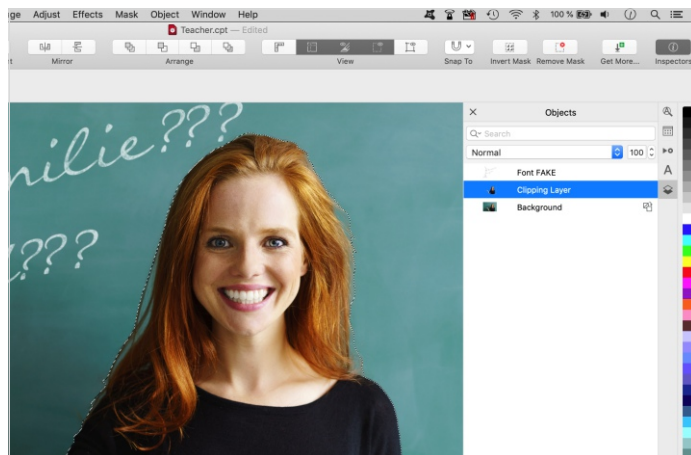


目が透けて見えるように、青い円を作成したレイヤーの透明度を設定します。

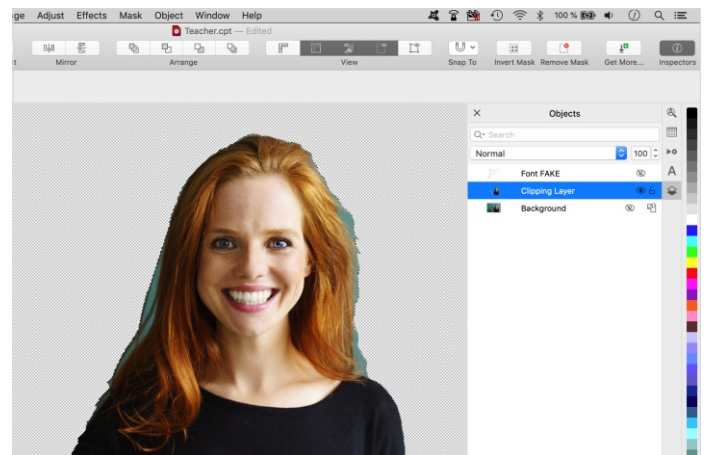


Corel PHOTO-PAINTの消しゴムを使って、まぶたの上の不要な部分を削除します。

PHOTO-PAINTのレイヤーは、人物や物体の切り取りにも役立ちます。今回はモデルの人物と背後の黒板を分離する例を紹介します。まず、背景のレイヤーをアクティブにします。このレイヤーを、[オブジェクト]のドッキングウィンドウ(インスペクタ)にある[新規オブジェクト]をクリックしてコピーを作ります。その下層にある元のレイヤーを非表示にし、複製した新しいレイヤーを表示にします。新しいレイヤーの名前を変更して、分かりやすい名前を付けましょう。



Corel PHOTO-PAINT (許容範囲 10) の自由選択マスクを使って黒板と人物との境界線をなぞり、[編集]>[削除]で人物を切り取ります。



切り抜かれた女性の画像が、透明の背景(明るいグレー色のチェックパターンで表現されます)の前面に配置されます。このレイヤーの下に別の写真のレイヤーを挿入すると、背景が切り替わります。

更に、レイヤーとクリップマスク機能を組み合わせることで、より便利な効果になります。仮にクリップマスクで切り取りたい対象物があり、その形状が全て黒色で構成されているとします。また、その箇所以外が白色で構成されているとします。そこで、黒色の部分に該当する元のイメージは別のレイヤーの画像ですべて覆い隠されますが、白い部分に該当する元のイメージの部分は覆い隠されません。そのため、はっきりとした明暗のコントラストは、パンチの利いた効果を生み出します。

クリップマスクの作成方法

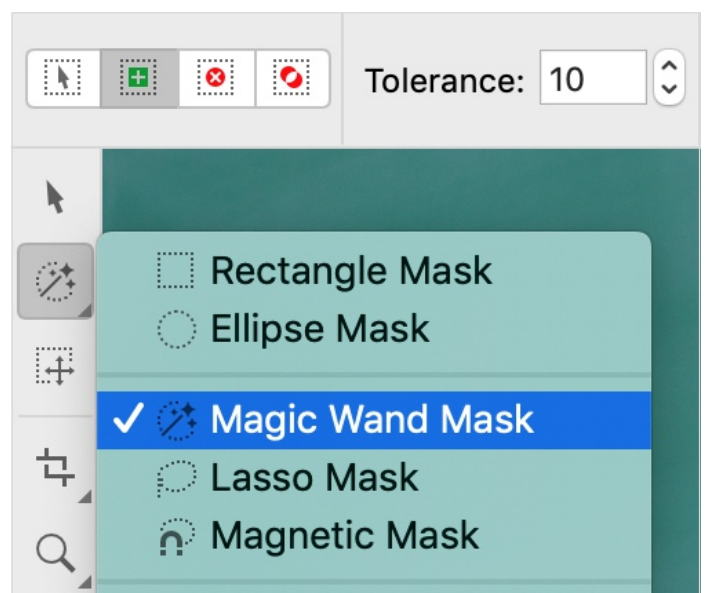
自由選択マスクを使って領域を選択します。[マスク]メニューで[マスクのオーバーレイ]を選択するとマスクの状態が確認できます。

メニュー[オブジェクト]>[クリップマスク]>[作成]を選択します。マスクを削除するには、メニュー[オブジェクト]>[クリップマスク]>[削除]を選択します。

複数のモードを使うこともでき、**加算**(編集可能な個所を増やす。「+」記号のマーク)、**減算**(編集可能な領域を減らす。「-」記号のマーク)、**オーバーラップ**から選択できます。

ヒント:

またマスクモードでは半透明色を使用することができ、より興味深くクリエイティブなバリエーションを作成できます。



新機能の「スマート選択マスク」ツールを使うという方法もあります。このスクリーンショットでは、自由選択マスクが有効になっていますが、スマート選択マスクはこのフライアウトメニューの最後にあります。

お問い合わせ先

詳しい情報をお求めの方、また無料体験版をダウンロードしたい方は <https://learn.corel.com/jp/cdgs/> をご覧ください。

コーレル株式会社セールsteam
biz-jp@corel.com

